

A - 15 次の記述は、FM(F3E)受信機の動作及び回路等の一般的な特徴について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。

2125 2195

フレエラジス 逆高周波送信
ラジオレス 多環

- 1 RTTY(F1B)受信機と比べたとき、中間周波増幅器の帯域幅が広い。
- 2 FM波復調のために用いられている位相同期ループ(PLL)復調器は、一般に位相比較器、~~低域フィルタ(LPF)~~及び電圧制御発振器(VCO)により構成される。
- 3 受信電波の強さがある限界値(スレッショルドレベル)以下になると、受信機の出力の雑音が増加する。
- 4 送信側で強調された高い周波数成分を減衰させるとともに、高い周波数成分の雑音も減衰させ、周波数特性と信号対雑音比(S/N)を改善するため、ディエンファシス回路がある。
- 5 ノイズスケルチ方式は、周波数弁別器出力の音声帯域内の音声を整流して得た電圧を制御信号として使用する。



D1 D2 D3
D4 D5 D6
D7 D8 D9
D10 D11 D12

おおきい方の□は、その回路を正しく記述していることを意味する。おおきい方の□の記述が正しくない場合は、□の記述を正しくする。

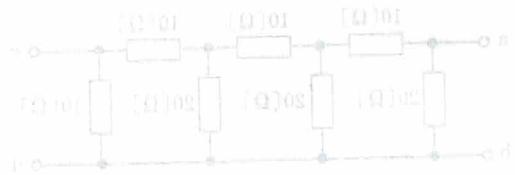
(1) おおきい方の□は、位相同期ループの構成要素として位相比較器と電圧制御発振器である。
□の記述を正しくするには、□を「位相比較器」と書き換える。

(2) おおきい方の□は、高周波信号を用いる中波、長波や車の各半波整流によって、それを大きく增幅される感度を上げるために電離気層である。

(3) おおきい方の□は、音声帯域内の音声を整流して得た電圧を制御信号として用いる。

平成 一元モード 交換子 1
生体 小型化、複数 マルチ 2
年齢 特定化、多様 3
年少 デザイン、操作性 4

おおきい方の□は、FM受信機の頂部のスピーカーに接続される音量調節部である。おおきい方の□の記述を正しくするには、□の記述を正しくする。



D1 D2 D3
D4 D5 D6
D7 D8 D9
D10 D11 D12